

# エルサルバドル政治経済月報 (2024 年 5 月)

2024 年 6 月  
在エルサルバドル大使館

## 内政

### 1. 2024 年～2027 年議会人事の決定

(1) 5 月 1 日、2 月 24 日の議会選挙にて選出された 60 名の議員による 2027 年 4 月 30 日まで任期の新議会が発足し、議長等執行部が選出された。

議長：エルネスト・カストロ・アルダナ（新思想党（NI））

第一副議長：スエシー・カジェハス（NI）

第二副議長：ロドリゴ・アヤラ（NI）

第一書記：エリサ・ロサレス（NI）

第二書記：レイノルド・カルドサ（国民団結党（PCN））（2025 年 10 月 31 日まで）

第二書記：ホセ・オランテス（PCN）（2025 年 11 月 1 日～2027 年 4 月 30 日まで）

第三書記：レイナルド・カルバーリョ（キリスト教民主党（PDC））

(2) 今般、議員数が 84 名から 60 名に減員したことに伴い、20 の常設委員会は 8 つに削減され、5 月 14 日までに全委員会の役職が決定した。

(ア) 財務・特別予算委員会委員長：クリスティアン・ゲバラ（NI）

同書記：ウィリアム・ソリアノ（NI）

(イ) 在外エルサルバドル人・立法・政府委員会（当館中：協力協定や外交関係を担当する委員会）委員長：アナ・フィゲロア（NI）

同書記：レイナルド・カルドサ（PCN）

(ウ) 治安・司法委員会委員長：カレブ・ナバロ（NI）

同書記：ワルテル・コト（NI）

(エ) インフラ・土地発展委員会委員長：サルバドル・チャコン（NI）

同書記：エリサ・ロサレス（NI）

(オ) 子供・社会統合委員会委員長：スエシー・カジェハス（NI）

同書記：ロレナ・フエンテス（NI）

(カ) 技術・観光・投資委員会委員長：ロドリゴ・アヤラ（NI）

同書記：ウィリアム・ソリアノ（NI）

(キ) 保健・農業・環境委員会委員長：リカルド・リバス（NI）

同書記：フアン・ロドリゲス（NI）

(ク) 政治委員会委員長：エルネスト・カストロ（NI）

同書記：アレクシス・リバス（NI）

### 2. 例外措置体制の再延長

5 月 9 日付当国官報は、同日、当国議会が令和 4 年 3 月 27 日に殺人事件の急増を受けて発令された例外措置体制（憲法で保障される権利の一時的制限措置（30 日間））の期間再延長（5 月 11 日発効し、6 月 9 日まで有効）を承認した旨発表した。

### 3. 例外措置体制下の拘束ギャング数、押収物

(1) 例外措置体制が発令された 2022 年 3 月 27 日から 2024 年 5 月 8 日までの間に、ギ

ヤングを80,044人拘束、麻薬157,389,014ドル相当、現金28,535,940ドルを押収し、ギャングの資金源に打撃を与えた。

(2) 検察庁(FGR)の統計によると、例外措置体制中に、ピストル、リボルバー、ライフル、マシンガン、ショットガン、カービン銃、手榴弾などの様々な種類の銃器4,088丁を押収した。

(3) 拘束されているギャング8万人以上のうち、約90%の71,356人は、裁判所による命令で司法手続き中は、刑務所に拘留され続けている。

## 外交

### 1. 在エルサルバドル中国大への駐在武官の着任

5月2日、Zhang Yanhui駐エルサルバドル中国大使は、ラジオ番組のインタビューにおいて、当地中国大使館に1,2ヶ月以内に武官が着任予定であること、現時点で二国間の軍事協力はないことを述べた。

### 2. グアテマラにおける移民と保護に関するロサンゼルス宣言」閣僚会合へのヒル外相の出席

5月7日、ヒル外務大臣がグアテマラにて開催された「移民と保護に関するロサンゼルス宣言」閣僚会合に出席した。ヒル外相は、発言の中で、エルサルバドルの安全で整理された合法移民の推進における前進及びブケレ政権により促進された不法移民の構造的な原因への対応のイニシアチブを強調した。また、ロサンゼルス宣言が採択される前の2019年からブケレ政権は、脆弱な状況におかれている移民に対応するための実務的で効果的な対策をとってきた旨述べた他、帰還移民への持続可能な社会復帰への支援や出身地域での生活状況の改善等により集合的な責任を支持してきた旨述べた。さらに、米国及びカナダ政府共同の短期労働プログラムへの支援に謝意を表した。

### 3. ヒル外相を招いた駐エルサルバドル外交団主催昼食会の開催

5月21日、ヒル外相は、駐節の外交団との会合に出席し、エルサルバドルの変革、発展のためのイニシアチブ、次期5年間の挑戦について語り、エルサルバドルに裨益する種々のプロジェクトへの各国政府の支援につき謝意を表明した。

同外相は、ブケレ大統領が、移民の構造的根源の問題への対処、特に治安の保証と経済的機会を優先課題としていることを指摘した他、経済協力の成果として、エルサルバドル国民に裨益するプロジェクト履行のため、諸外国から14億ドルの資金を獲得したこと、経済外交の枠組みで、2.68億ドルの外国からの直接投資が実現し、製造業、飲食品、観光などの分野にわたっていると述べた。

同様に、過去5年間に、モロッコ、トルコ、ポルトガル、シンガポール、ベトナム、ノルウェー及びサウジアラビアの7大使館を新設し、12の領事館を新設し、領事館ネットワークを強化した上、アフリカ9カ国と外交関係を樹立し、外交関係を有する国の数が150となったと述べた。

## 経済

### 1. 政府によるビットコイン情報の公開(5月21日付「ディアリオ・エルサルバドル」紙)

(1) 5月14日に公表された文書によると、エルサルバドル政府はビットコインのマイニング作業の報酬によって2021年から現在までに473.5BTC(2024年5月中旬のレートで3,300万米ドル相当)のビットコインを得た。ブケレ政権下でウスルタン県ベルリン市にある地熱発電所に300台ほどのマイニング機器が設置され、テカパ火山の発する地熱を利用した電力を用いてマイニング作

業が行われている。これらの手法で得られたものと合計して、現在エルサルバドル政府の所有するビットコインは5,756BTCとなった。

(2) ビットコインのマイニング作業や取引をするためのオープンソースプログラム「Bitcoin Core」の開発者のひとりでもあるオーシャンマイニング社のCTOであるルーク・ダッシュジュニア氏は、ビットコインを法定通貨として採用している国家が、米国やその他の企業・団体任せにはせず、ビットコインのエコシステムであるブロックチェーンを強固にするマイニング作業に自ら取り組むことには大きな意義があると述べた。

(3) 政府機関「国家ビットコインオフィス(Oficina Nacional del Bitcoin, ONBTC)」は、ビットコイン情報を扱うオンラインプラットフォームである「mempool.space」上に、エルサルバドル政府のページを開設し、そこで政府のビットコイン保有量や取引履歴をリアルタイムで閲覧できるようにした。右は ONBTC のウェブサイト(<https://bitcoin.gob.sv/>)でも閲覧可能となっている。

## 2. カタールとの検察分野における協力 (5月20日付「ディアリオ・エルサルバドル」紙)

5月20日、エルサルバドルのロドルフォ・デルガド検察庁長官は、カタールのIssa bin Saad Al Jafali Al Nuaimi同国検察庁長官と共に、両国の検察の協力に係る協定に署名を行った。同協定により、犯罪防止の知見に関する意見交換が行われるほか、人材育成も行われ、両国の検察機能のさらなる向上が図られる見込み。エルサルバドル側は、同協定を通して検察業務におけるさらなるデジタル化の推進もねらっている。なお、本協定のような二国間の協力関係構築のベースには、2019年のブケレ大統領のカタール訪問、2023年のタミーム首長のエルサルバドル訪問の際の合意がある。

## 3. サウジアラビアとの航空分野における協力(5月22日付「ディアリオ・エルサルバドル」紙)

5月21日、エルサルバドルのオメロ・モラレス民間航空局(Autoridad de Aviacion Civil, AAC)局長は、サウジアラビアのAbdulaziz bin Abdullah Al-Dualiej民間航空総局(General Authority of Civil Aviation, GACA)局長は、両国間の航空輸送協定を推進するための共同交渉議事録に署名を行った。同署名には在サウジアラビア・エルサルバドル大使館の関係者も立ち会った。AACは「X」を通じて、同交渉は今後の了解覚書および航空輸送協定の署名のための前段階であると発表し、右協定の締結によって両国間での旅客輸送のためのコネクションの確立や、より短い期間での貨物・郵便輸送が促進される。

## 4. 米 Moody's によるエルサルバドルの信用格付けの「Caa3」への格上げ(5月24日付)

### 1 Moody's社レポート

(1) 弊社はエルサルバドルの長期信用格付けを「Caa3」から「Caa1」へ格上げしたが、これは①対外的には2024年4月の債務の早期償還を含む債務マネージメントによって2027年までの債務支払い及び利子支払いが減少したこと、②対内的には国内金融機関に対する15億ドル(GDP4.2%相当)規模の債権の償還期間の延長(短期債の中・長期債への借り換え)で合意に達したこと、さらに、③政府が資金調達需要の削減に成功(2021年はGDP比5.5%だったが2023年にはGDP比2.3%まで削減)したことで財政赤字が緩和・安定傾向にあり、政府の信用リスクが大幅に減少したことに起因している。

(2) 今後の見通しを「安定的」とした理由のひとつに債務状況が改善傾向にあることが挙げられる。2024年のエルサルバドル政府は、GDPの3.9%、すなわち(非金融部門)政府収入の15.9%を利子支払いに充てる必要があるが、現状では欠如しているが、連携のとれた財政戦略がとれば右割合を下げることもできるだろう。政府のとるべき財政戦略の中にはIMFとの合意も含まれているが、合意への見通しは依然不透明であると見ている。また、第二の理由として長年の懸案事項であった治安の問題が改善されたことで高度経済成長へと向かっていることが挙げられる。継続的な治安状況の改善は、投資や観光の障壁を取り払いうるものであり、これらはエルサルバドル経済の多角化に資する。

(4) 他方で、脆弱な政府機関やガバナンス、イベントリスクによる影響を受けやすく、限られた国際金融市場へのアクセスといった点も今般の評価には考慮されている。国内労働者の16%が農業

に従事するエルサルバドルであるが、干ばつ及び洪水といった気候変動リスクに対して脆弱であり、それらがGDP成長率のボラティリティを高める要因となる。

## 2 各社報道ぶり

(5) Moody's社はエルサルバドルの信用格付けを「Caa3」から「Caa1」に2段階格上げした。これは、本年4月にエルサルバドル政府が行った早期償還によって2027年までの償還費及び利払い費が抑制されたことによる。なお、右オペレーションには、先般の新規国債(2030年満期)発行により得られた資金が充てられていた。

(6) 本年4月にエルサルバドル政府が行った4,87億ドル分の早期償還では、2025年満期国債は売りオファーのあったものすべてを買い戻し、さらに2027年満期国債の41%、2029年満期国債の24.7%の買い戻しが実施された。これにより、2025年に満期を迎える国債は残り9,960万ドルとなり、これは新規国債発行で調達した資金で十分にまかなえる額であることから債務不履行となる可能性が劇的に低下したことが好感された。

(7) また、Moody's社は、エルサルバドル政府が、民間銀行との間で短期債務の返済期限の延長の合意に達したことで、資金調達需要の削減に成功した点も指摘。他方で、同社は、エルサルバドルを「Caa1」として引き続き投機的グレードに据え置いている理由として、脆弱な政府機関及びガバナンスを指摘。さらに、政府の国際金融市場へのアクセスが限られていることからイベントリスクの影響を比較的受けやすい点も指摘されている。

## 5. キャシー・ウッド米ARKインベスト社CEOの当地訪問

(1) 米資産運用会社のARKインベスト社のキャシー・ウッドCEOがエルサルバドルを訪問し、ブケレ大統領と面会した。国家ビットコインオフィスによると、同会合ではエルサルバドルにおけるビットコイン等の「新たな資本市場」やAI含むテクノロジー分野における投資機会についての協議が行われた。

(2) 同会合には米レーガン政権期に経済政策諮問委員会メンバーを務めていた経済学者のアーサー・ラッファー氏も参加したほか、また、ARKインベスト社でブロックチェーンを用いた処理について調査するオンチェーン・アナリストを務めるデビッド・プエル氏も参加した。同氏は、国家ビットコインオフィスのプログラムの一環で、数日前に当地ドン・ボスコ大学において技術哲学等についての講演を行っていた。

(3) ウッドCEOは会合後、自身の「X」アカウントにて、第二次ブケレ政権の5年間でビットコイン及びAIを活用してブケレ大統領の推し進める経済及び教育改革を加速させることで、ブケレ大統領はエルサルバドルのGDPを10倍にする可能性を秘めていると賞賛した。また、ウッドCEOは、会合の際、ブケレ大統領がラッファー曲線をよく理解している等とても博識で、魅力的かつ、ビジョン志向である印象を受けたと評価し、エルサルバドルのみならずラ米全域、さらにはスペインやポルトガルでも人気であることに納得がいく旨をポストした。(了)